

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

2019~2020 年度 京都部部長通信

2019. 11. 11 Vol.1

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区京都部 第24期京都部部長の京都ウエストクラブ 島田博司です。第24期がスタートし、期の1/3である4ヶ月が経ちました。

ここでこの4ヶ月を振り返りたいと思います。

部長公式訪問・EMC 活動



まず7月から24期が始まり、7月3日のグローバルクラブさんの同時8名の入会式は私にとって衝撃的で大変刺激を受けました。私は期の初めに EMC 活動方針に京都部のクラブ全体が良い意味で、お互いのクラブが競争しあえる関係づくりを目指すと書かせていただき、EMC に対する皆さんの意識を高めるためにはどうしたらいいのかと考えていた矢先だったからです。グロー

バルさんに続いて北京都フロンティアクラブさんの4名の入会式、ZERO クラブさん、エイブルクラブさんとたて続けに入会式に参加させていただき、このことを公式訪問でお話しさせていただきました。すると我がウエストクラブでも吉川会長が「京都部で頑張っている島田部長に恥をかかせられない」と10月に1名、11月に2名、12月に1名、そして来年にも2~3名の入会者が控えていると聞いた時、鳥肌が立ちました。各クラブ間で会員増強の相乗効果が出ている。結果が出てきていると感じました。実際、11月末にてすでに昨年の入会者数を上回る結果が出ているのです。

10月末現在、16のクラブを訪問させていただきました。この調子で、山下 EMC 主査が掲げられている24期入会者100名の目標を達成すべく、退会者が出ないよう各クラブに今後も言い続けたいと思っています。



京都部部会



京都部部会の主役は18クラブの会長です。と部長主題である「限界を超えろ！」をコンセプトに、3月の次期会長・主査研修会や6月の評議会場で自クラブの5年後10年後の将来像についてクラブ内で話し合いの場を持っていただきたいこととお話いたしました。

現在、京都部には18クラブが所属し、500名近いメンバー数を誇る西日本区最大の部となっ

ております。

京都部並びに各クラブがそのクラブ数・メンバー数に甘んじることなく、常に危機感を持ち続けて欲しいと思っています。

現在メンバー数が少なく今後の方向性に迷っているクラブは、この先5年後・10年後どのようなクラブの未来像を描こうとしているのか？

そしてメンバー数の多いクラブは、その自クラブの長所・短所に真摯に向き合い、さらに強いクラブを目指す為に、この先5年後・10年後何をしなくてはならないのか？

そういった事を考えるきっかけとなる1年にして欲しい。なかなか難しいことではあります。このことはクラブを強くし、今後のクラブの運営にとって大切なことです。その話し合った結果を部会の壇上で会長自らスピーチしていただくことで、会長としてのリーダーシップを発揮し、クラブが今以上に団結してほしいとの思いからこのような企画を考えました。

クラブ会長のお話しはみなさん情熱的で個性的で素晴らしいスピーチで有意義な時間となりました。

クラブ会長がスピーチをされた後に、たくさんの出席者の方とお話しさせていただいたとき、その後に私に送られてくるたくさんのブリテンを読ませていただきましたが、京都部の18クラブのそれぞれの想いや、現状、そして部長の想いが伝わった。とのお言葉をいただきました。またクラブ会長にお話ししていただいた今後の自クラブのことを考えた熱き想いは、他の部のメンバー皆さんにも伝わったのではないかと思います。

そうした皆さんの想いを今後も京都部からどんどん発信していきたいと思えます。

Y's Power No Limit ワイズのパワーには限りがない。無限大である。今後も言い続けていきたいと思えます。



ワイズデー2019



令和元年10月27日(日)、10月末としては少し汗ばむ陽気の中、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区京都部によるワイズデー2019を京都三条会商店街にて開催いたしました。ワイズデーの趣旨のもと、たくさんの一般の方にワイズメンズクラブを広報する目的で商店街の中ほどにある三条大宮公園にてワイズメンズクラブを紹介するブースや、支援先を紹介するブース、SDGsを紹介するブース、

そして本や文具をリユースするブースが立ち並ぶ中、12時より中央のステージでは部長である私の挨拶から始まり、学生やプロの歌手によるステージが始まりました。予想を上回る人が詰めかけ、大盛況でありました。そして14時よりワイズデー2019のアトラクションである「ギネス世界記録に挑戦!」が始まりました。これは京都部が1年前より企画し打ち合わせを重ねた企画で、「互いのTシャツの背中に1分間にサインをした最多人数」という競技です。今までのギネス認定数は918人、それを超えるべく門川大作京都市市長をはじめ約980人のチャレンジャーが集まり、100名近いスタッフが見守る中、1分間の競技は無事終了し審議に入りました。ギネス社よりお越しいただいた公式認定員が審議をおえられ、結果の発表があり参加者が固唾を飲み結果を待つ中、発表された結果は、919人でギネス世界記録更新といううれしい発表でした。なんと1名の更新です。奇跡のような結果に参加者たちは喜び、抱き合い、歴史がめり替えられた瞬間に立ちあいました。1000人規模の達成感は圧巻でありました。

その模様は夕方のテレビやラジオでも紹介され、翌朝の京都新聞・毎日新聞の朝刊にもワイズメンズクラブの紹介や我々の活動も記事になり、部長主題である「限界を超えろ!」～Y's Power? No Limit!～を証明できたのではないのでしょうか。

お声がけにてお越しいただいたゲストの皆様にも感謝申し上げますと共に、今回のワイズデーがゲストの方の入会につながるきっかけとなることを願っています。

また、京都部としても今回のワイズデーを通して、京都部内での交流が活発に行われ、より一層、固い絆を結ぶことが出来たのではないかと考えております。

ギネスを達成してワイズデー2019は完結したわけではなく、ワイズデーの今後の参考資料として活用ができる記録(画像・映像・資料など)を作成し、またボランティアで参加してくれた高校生ボランティアの活動発表の場などを今後設けたいと考えています。

